

INTENSIVE
ISSUE
BASED
EDUCATION
& TRAINING
PROGRAM
SYMPOSIUM

2.16 Thu.

千葉大学国際教養学部は、「イシューベースの教育」を大きな特色としています。特定の学問領域から出発するのではなく、各学生が社会に対峙して日本や世界を分析的に眺め、自らイシュー(課題)を発見し、文理を跨いだ幅広い知を融合させてその課題の解決策を考えていく、そのための力を涵養することを目指してきました。令和3年度よりスタートした「インテンシブ・イシュー教育プログラム」(II-BEAT)も、この取り組みをさらに推進していくことに主眼が置かれています。

本シンポジウムでは、設置から7年を迎える国際教養学部のこれまでの教育活動を振り返るとともに、「文理混合」および「イシューベース」の学びの意味や、そのより効果的な教育・支援の在り方を考えます。あわせて、Society 5.0に立ち向かう課題解決型の行動ができる人材育成とは何かを探ります。

開催日時： 2023年2月16日(木) 14:00-16:30

形式： Zoomによるオンライン開催・参加費無料

対象： 大学関係者、高校関係者ほかどなたでも

申込方法：



左二次元バーコードもしくは下記 URL より
必要事項*をご記入の上、お申し込みください。
申込受付後、後日メールで Zoom 情報をお送りします。

URL: <https://forms.gle/sbxPXw3thwbRtz2m8>

*お預かりした個人情報は、本シンポジウムの運営業務以外には使用しません。

申込期限： 2023年2月10日(金)

多分野を総合する力を育む
イシューベースの教育と
課題解決型人材育成

文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」
千葉大学「インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開」シンポジウム
令和4年度千葉大学全学FD研修会

PROGRAM

司会・進行： 縣 拓充(千葉大学大学院国際学術研究院 特任講師)

14:00-14:05 開会挨拶

14:05-14:20 講演1 国際教養学部の7年 —教育改革の観点から—



小澤 弘明

千葉大学副学長(教育改革) / 大学院国際学術研究院長・教授 / 国際教養学部長

東京大学大学院社会学研究科国際関係論専門課程博士課程単位取得退学。東京外国語大学助教授、千葉大学文学部教授を経て、2014年より千葉大学教育改革担当副学長として全学教育を運営。2016年度より新設された国際教養学部の学部長を務める。専門は歴史学、国際関係論。2021年度より本事業の事業計画責任者。

14:20-14:50 講演2 社会的課題と専門領域をつなぐ教育 —副専攻としての科学技術社会論—



八木 絵香氏

大阪大学COデザインセンター 教授

東北大学大学院工学研究科科学技術社会システム専攻修了、博士(工学)。大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授、大阪大学COデザインセンター准教授などを経て、2020年より現職。専門は、科学技術社会論、ヒューマンファクター研究。主な著作に、『続・対話の場をデザインする:安全な社会をつくるために必要なこと』(2019年・大阪大学出版会)など。

14:50-15:10 講演3 大学発イノベーションへの期待 —教養の重要性の観点から—



片桐 大輔

千葉大学学術研究・イノベーション推進機構(IMO) 特任教授

千葉大学大学院医学薬学府博士課程修了、博士(薬学)。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDOフェロー)を経て、バイオ系大学発ベンチャーを起業・経営。並行して、千葉大学学術研究推進機構特任准教授として産学連携、イノベーション教育等の業務に従事。その後、官民投資ファンドでのベンチャーキャピタリストを経て、2022年より現職。第12回産学官連携功労者表彰 経済産業大臣賞。

(休憩 10分)

15:20-15:40 事業報告 インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開(II-BEAT)について

和田 健

千葉大学大学院国際学術研究院 副研究院長(企画・教育担当)・教授 / 国際教養学部 副学部長

小泉 佳右

千葉大学大学院国際学術研究院 准教授 / 全学教育センター 副センター長

15:40-16:25 パネルディスカッション 多分野を総合する力をいかに育むか

モデレーター 神里 達博

千葉大学大学院国際学術研究院 教授 / 大学院総合国際学位プログラム長

パネリスト 八木 絵香氏 ・ 片桐 大輔 ・ 和田 健 ・ 小泉 佳右

16:25-16:30 閉会挨拶

INTENSIVE ISSUE BASED
EDUCATION & TRAINING PROGRAM
SYMPOSIUM